―人がとちぎの未来をつくる―

とちぎ Future

下野新聞社は、昨年6月に創刊135周年を迎え、「未来のとちぎをつくる人たち」を通して郷土とちぎの活性化、経済成長を図る企業を紹介する「Future とちぎ」を企画しました。今回は、創業25周年を迎えたファブリックスの総合商社・株式会社ユザワ（日光市瀬尾）の湯澤隆司代表取締役に、ユザワの提案型営業、今後の展望などについて話を聞きました。

株式会社ユザワ

創刊135 企画・制作 下野新聞社営業局

インテリア提案力を拡大

感動与え 産業・地域に貢献

湯澤 隆司 代表取締役

■創業から四半世紀が過ぎました。これまでを振り返っていかがですか。

1989年に創業しましたが、原点は私の米国留学体験にあります。60年代にロサンゼルスの一般家庭に滞在し、素晴らしいインテリアに出合い、統一された色彩、デザインなどに大きな刺激を受けました。帰国後、「これからはインテリアが注目される」と考え、宇都宮市内の商社で13年間「修業」を積み、独立し自宅の8畳間から、妻と事務員の3人でスタートしました。

また、インテリアの研究・研さんを目的とした「フェリーチェ・インテリアコーディネータークラブ」（「栃木インテリアコーディネーター協会」の前身）を有志5人で立ち上げました。その後、「町田ひろこインテリアコーディネーターアカデミー宇都宮校」の1期生として学びました。創業からの2年間は「三足のわらじ」をはいて東奔西走しました。知識の習得、人脈づくり、クラブの活動を通じ業界貢献と、いま思えば、この2年間が現在のユザワの下地を作ったと思います。

以降、ファブリック（カーテン、壁材などの布製品の卸・代理店）を主に、インテリアコーディネーターの知識を生かした提案型のビジネスを進めてきました。スタッフも毎年1人ずつ増やし、東日本でもトップクラスの売り上げを達成しました。5年後は売上高15億円を目標としています。

■提案型のビジネスとは。

窓、床、壁、天井、照明、小物まで、インテリアをトータルコーディネートできる業務形態は、県内では未開の領域でした。卸売りですからファブリックのメーカーと、住宅メーカーおよび工事店・家具店などの小売店との間の二中流に位置し、エンドユーザーと接する機会はありません。しかし目線の先には、常に商品を利用する方の「夢ある暮らし」があります。単なる物流でなくメーカーとユーザーの〝橋渡し役〟でありたいと思っています。インテリアとは、アイテム選びに留まらない「住まい方」そのもの。「感動ある顧客満足度の向上」を目指し、業界に貢献することがユザワの理念です。大手ハウスメーカー、大型の家具店などからも、その差別化された提案力が評価されています。付加価値として、今では新商品の企画開発段階から、ファブリックのメーカー側と連携させていただくことも増えてきました。

1951年、日光市（旧今市市）生まれ。住宅資材商社などを経て、89年にユザワを設立し社長に就任。「栃木インテリアコーディネーター協会」事務局長などを兼務

■ユザワの沿革■

平成元年 2月1日に創業。
3年 1月1日、株式会社として設立、資本金1000万円
10年 1000万円増資、資本金2000万円となる
15年 創業15年記念社屋・セミナーガーデン（ショールーム）併設
20年 1000万円増資、資本金3000万円となる

・関連団体
栃木インテリアコーディネーター協会（事務局長）

・主な加盟団体
（公社）栃木県経済同友会会員、日光市商工会議所議員、（公社）インテリア産業協会会員

日光市瀬尾にあるユザワの拠点「セミナーガーデン」（ショールーム）。商品の展示だけでなく、研修会などを開催することもある。

昨年は本社、仙台、つくば、千葉などでトレンドセミナーや新作発表会を計6回開催した。

栃木インテリアコーディネーター協会主催のセミナー。この日は一般の方など45人が参加した＝2月6日

■「栃木インテリアコーディネーター協会」とは、どのような組織ですか。

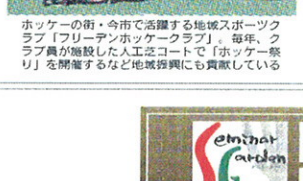
仙台、福島への販売エリアの拡大を図っています。今年以上の「熱意」と「創意」で営業に努力します。戦略としては、カーテン市場と市場構図を再認識し、変化の時代を先読みします。それが企業の生き残る道で、さらなるスピードとチャレンジ精神が必要です。また異業種との交流やコラボレーションに入れ、まい進したいと考えています。差別化戦略をさらに進ませれば、まだ業績は伸ばせると思っています。5年後の創業30年には本社を移転し、ショールームを構える予定です。

■「栃木インテリアコーディネーター協会」とは、どのような組織ですか。

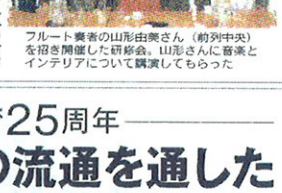
協会は栃木県を中心にインテリアコーディネーター、プランナーや、それらを目指す人々が集い情報交換、勉強会を行う組織です。現在会員は、情報賛助会員も含め約50の個人・団体が加盟しています。年に4、5回のセミナー・講座では一般の方も参加いただき、ハイセンスなインテリアの普及啓発をしています。感性は磨けば磨くほど輝くものです。そうした取り組みも業界貢献策の重要なポイントです。

■地元日光市に対する地域貢献にも積極的ですね。

1980年開催の「栃の葉国体」誘致を機に、旧今市市はホッケーの盛んな地域となっています。身内にも実業団女子ホッケーチームの元監督がいて、そうした縁もあり「フリーデンホッケー倶楽部」というクラブチームの会員としてスポーツを通じた地域振興に努めています。同クラブは豊岡中部太桑ホッケースポーツ少年団を中心として活動してきた小学生チームと、その保護者が核となったマスターズチームで構成されています。少年団は過去、全国大会女子の部で2度優勝しました。将来はクラブから五輪選手が誕生することを夢見ています。一方、「栃木県経済同友会」では地域振興委員会にも名を連ね、日光の世界遺産や、伝統的食文化などの情報を発信し日光、栃木を元気にする活動にも努めています。



ホッケーの街・今市で活躍する地域スポーツクラブ「フリーデンホッケークラブ」。毎年、クラブ員が施設した人工芝コートで「ホッケー祭り」を開催するなど地域振興にも貢献している

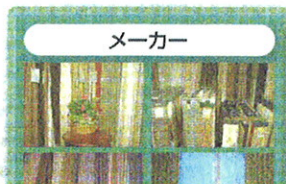


フルート奏者の山形由美さん（前列中央）を招き開催した研修会。山形さんに音楽とインテリアについて講演してもらった

Seminar Garden YUZAWA 快適空間の創造

おかげさまで25周年

ファブリックスの流通を通した
快適空間の創造を目指して



取扱メーカー及び協力会社

SANGETSU ㈱サンゲツ
川島織物セルコン ㈱川島織物セルコン
㈱フジエテキスタイル
リリカラ リリカラ㈱
GOYO INTEX 五洋インテックス㈱
タチカワブラインド 立川ブラインド工業㈱
TOSO トーソー㈱
Nichibei ㈱ニチベイ
弘商商事株式会社 弘商商事㈱
中央会計事務所 税理士 多久美巳
MANAS SUMINOE HSBA HunterDouglas MOLZA BAKUMA

株式会社 ユザワ
ファブリックス専門代理店
本社：〒321-1264 栃木県日光市瀬尾1459
TEL.0288-30-1025(代) FAX.0288-22-4088
URL http://yuzawa21.co.jp/

栃木インテリアコーディネーター協会事務局
URL http://ficc.jiia.net/